

# 平成 27 年度 公益財団法人焼津市振興公社事業報告書

## 1. 総括事項

公益財団法人焼津市振興公社は、定款第 3 条の目的を達成するため、平成 27 年度において概ね次のような事業を行いました。

### (1) 地域文化の振興（公益目的事業）

焼津文化会館及び大井川文化会館では、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供するとともに、市民の芸術文化活動を支援するため自主文化事業を鑑賞型、普及・協働型、市民参加型と位置づけ、バランスよく積極的に実施しました。

なお、事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な事業を企画し、他の団体・機関との共事業業を含め両館で 77 本（焼津 49 本・大井川 28 本）の自主文化事業を行い、多くの市民の鑑賞・協力・参加を得て、好評を博しました。特に、焼津文化会館では開館 30 周年を迎え 7 年ぶりの開催となる市民参加の第九、焼津ライオンズ

クラブとの共催の松竹大歌舞伎など 9 本の記念事業を実施しました。

来場者の満足度及び観客増加を図るため、コンサート等で来場者アンケートを実施しております。お客様のニーズに応えることを第一に、年齢層によってどのような媒体で情報を得ているのかなど調査し、公演内容に合ったテレビ、ラジオ、新聞広告等のメディアの有効利用や、チケット発売前に志太榛原地域の公共施設をはじめ観光施設・スーパー・美容院などへチラシポスターの掲示を依頼する PR も積極的に行いました。

お客様の利便性やサービス向上を目的に平成 23 年度導入したチケットシステムは、インターネット予約やコンビニでのチケット受け取りも可能となりました。チケットシステム導入年度はインターネット会員登録数約 400 名（内メールマガジン希望者数約 300 名）に対し、現在は会員数約 5,300 名（内メールマガジン希望者数約 2,370 名）となりました。

また、インターネットでチケットを購入する方の割合も導入年度は 5%程度でしたが、現在は 16%まで伸びお客様の利便性・サービス向上に繋がる結果に結びつきました。

より多くの方が芸術文化に触れることができるよう託児サービスや普段鑑賞機会の少ない育児中の方を対象にしたミニコンサートなども行い、年齢性別問わず誰もが芸術文化に触れることができるよう取り組みました。

ディスカバリーパーク焼津天文科学館では、幅広い年齢層が気軽に天文・科学に触れる場を提供するため、プラネタリウムでは、アニメで話題となった「ちびまる子ちゃん」や「ワンピース」「ポケットモンスター」などを投影しました。さらに、焼津市出身の二胡奏者鈴木裕子によるプラネタリウム音楽会や朗演家大石みつえによるプラネタリウム朗演などを実施しました。

さらに、連休中等、多数の利用者がある時には、ボランティアによる工作コーナーなどを実施しました。

今後とも、ディスカバリーパーク焼津天文科学館が地域の理科及び科学教育の拠点となるよう努めます。

(2) 公の施設等の管理運営の受託（公益目的事業、収益事業）

地域文化の振興拠点である文化センターの施設管理と両文化会館の運営、天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を受託しました。

両文化会館及び天文科学館の施設運営につきましては、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすとともに、弾力的、効果的な運営に努めました。その結果として、年間利用者が、焼津文化会館では 273,991 人、大井川文化会館では、95,463 人、天文科学館では、年間有料入場者数が、120,754 人となりました。各館とも、前年度より大幅に増加し、特に大井川文化会館は開館以来最高の利用者数を記録しました。

また、天文科学館では、光学式プラネタリウムと国内最高水準となる CG による統合型プラネタリウムを活用し、小学校の理科授業に伴う学習投影のほか、季節で変わる一般向け番組やCGドームシアターなどを投影しました。

また、今年度、焼津市では 22 年ぶりとなる現役宇宙飛行士による「星出彰彦宇宙飛行士講演会」を企画し、大井川文化会館を会場にして開催しました。

それから、1 階展示・体験室では、職員の自主制作による、見て、触れて、体験しながら科学を学べる参加体験型の特別展「ふしぎ！びっくり！科学おもちゃ箱」などを開催し、好評を得ました。

ディスカバリーパーク焼津の公園においては、樹木の定期的な手入れや、公園清掃を実施しました。また、定期点検の結果にしたがって遊具の修繕を行いました。

(3) 物品販売事業（収益事業）

会社の安定財源確保のため、管理施設内の自動販売機 19 台による飲料水等の販売及びディスカバリーパーク焼津天文科学館内の売店にて天文グッズ等の販売を実施しました。

飲料水等の自動販売機は、屋内外に設置し来館者の利便性向上を図りました。

天文科学館の売店については、星座早見表や組み立て望遠鏡、実験キットなど天文・科学に興味を持つ商品や学習に役立つ書籍に加え、特別展の関連商品を取り扱うことで事業との相乗効果を図りました。

<附属明細書の作成について>

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附則明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。